



きれいな学校 輝く笑顔 ~J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)~

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関282

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

友と見た初日の出
~昇る朝日は、君たちの未来~

校長 澤田 純一

年が明けました。皆さんは、それぞれどのように新年を迎えたでしょうか。今年も一人ひとりにとって良い年でありますことを願います。

さて、私の新年は、神奈川県湘南海岸での「初日の出」(と言っても2日ですが)参観から始まりました。友人と深夜に川越を出発し、夜明け前の砂浜でセミドライスーツに着替えます。海用の手袋とブーツを履き完全防寒の状態になり、サーフボードを片手に、酷寒の海に入ります。海は私達を優しい波で迎えてくれました。私達は、それぞれサーフボードにまたがり海に浮かび、遠く広がる水平線を見つめます。次第にあたりの海面がオレンジ色に染まり一光が自分に向かって一直線に差し掛かってきます。これが初日の出です。周囲から歓声がこぼれました。私は、こんなに美しい太陽があるものかと感動しながら、今年の決意を心に刻みました。そして、反転し背中に初日の出を浴びながら砂浜に向かい全力でパドルングをし、波に乗ります。今年も一つの儀式が終わりました。爽快な気分でした。

次に私達は、「箱根駅伝」で湘南を疾走する互いの母校に応援を送りました。選手の足音、呼吸音そして表情までもが見てとれます。母校の為、自分の誇りの為、これまで一緒に練習をしてきた友の為、あるいは、育ててくれた両親に感謝の意を伝える為など、それぞれの選手が渾身の力を込めて走っている姿に、心から敬意を表せざるを得ませんでした。まさに、この日2度目の感動です。私たちは、母校だけでなく全ての選手に声援を送りました。

新年を迎えるにあたり、このようなスタートが切れたことを嬉しく思うとともに、このような機会を設けてくれた友人に感謝したいと思います。この友人は、私の高校時代の友です。楽しい青春時代を過ごただけでなく、私が社会人になって、苦しい時や壁にぶち当たった時も助けてくれたかけがえのない友であり、これからも友であり続けたいと願っています。そこで私が皆さんに伝えたい事は、「友をいつまでも大切にしたい」ということです。

「親友」「心友」「信友」「真友」など友を表す言葉は様々ですが、要は、こちらが「親友」と思えば親友なのです。「真友」と思えば真友なのです。一方通行でいいのです。そして、友であり続けるには努力が必要であるということです。卒業してしばらくたつと、互いに疎遠になっていきます。そうならないため、たまに電話をしてみる。手紙を書いてみる。メールをするなど自分から努力をしていくことが友人関係には不可欠です。

大久保中学校には347名の生徒がいます。その中に、自分にとって生涯の友が必ず存在します。そして、この中には将来、大学に行き国を動かす仕事に就く人もいるでしょう。中学を卒業して働く人もいるでしょう。大切なことは、10年後、20年後の同窓会で「久しぶりだな。元気にやっているかい?」「何とかやっているよ。お前こそどうだ?」と気さくに声をかけられること、誰とでも公平に接することができる人間であるということです。

友と見た初日の出は、皆さんの未来を象徴している様でした。友のありがたさを感じるとともに、皆さんと出会えたことに感謝していることを伝え、新年の祝辞とします。